

**K&W**

第68号

**神奈川と溶接**
**KNG WES** 一般社団法人  
**神奈川県溶接協会**

〒210-0001 川崎市川崎区本町2-11-19

TEL 044-233-8367 fax 044-246-5265

E-mail: contact@kngwes.or.jp

web: <https://www.kngwes.or.jp/index.html>

引地川親水公園の桜

3月29日撮影

## 2022年度(令和4年度)第67回全国溶接技術競技会開催

溶接技量日本一を競う2022年度(令和4年度)第67回全国溶接技術競技会が(一社)日本溶接協会・東北地区溶接協会連絡会・(一社)青森県溶接協会の主催により2022年9月24日(土)競技要領等説明会および開会式をホテル青森、25日(日)に競技会を青森県立青森工業高校に於いて開催されました。

全国の都道府県大会を勝ち抜いた代表選手、被覆アーク溶接の部56名、炭酸ガスアーク溶接の部56名の合計112名が溶接技術日本一を目指して技を競いました。神奈川県代表は2022年度神奈川県溶接技術コンクール被覆アーク溶接、炭酸ガスアーク溶接でそれぞれ1位2位を獲得した各々2名合計4名の選手が出場しました。

力及ばず神奈川県代表の選手は入賞を逃しましたが健闘を称えるとともに次回全国大会の代表となる選手に期待したいと思います。

2022年度の全国大会優勝選手は下記の通りです。

被覆アーク溶接の部	福岡県代表	小林和樹	(株)高田工業所
炭酸ガスアーク溶接の部	愛知県代表	岡田拓己	トヨタ自動車(株)

次回第68回大会は、2023年11月12日(日)茨城県土浦市の日立建機(株)霞ヶ浦研修所にて開催されます。



神奈川県代表選手4名  
 左から古家さん、村山さん、西本さん、伊藤さん



全国大会代表選手と関係者

## 第14回高校生溶接コンクール神奈川県代表選抜予選会 開催

2023年1月21日(土)に(一財)日本溶接技術センターにおいて、第14回神奈川県高校生溶接コンクールを開催しました。このコンクールは、日本のものづくりを支える溶接技能の普及・啓発を図り、製造業の若き担い手育成を支援する目的で開催するものです。この大会の優勝者および準優勝者は、4月29日(土)にコベルコ溶接テクノ(株)溶接研修センターにて開催予定の、第13回関東甲信越高校生コンクールおよび第23回高校生ものづくりコンテスト関東ブロック予選大会の神奈川県代表選手になります。

溶接棒は例年、株式会社神戸製鋼所様よりご協力を頂き、会長賞として優勝者と準優勝者へ遮光面、3位と4位の方へはエプロン袖付前掛を今回は尾茂田会長が各校を訪問して贈呈しました。

参加者5校13名(内1名がコロナ後遺症により当日欠席のため、参加者は下記の12名となりました。)

(県立川崎工科：2名、県立向の岡工業：3名、県立横須賀工業：2名、県立神奈川工業：2名、県立平塚工科：3名)

### <コンクール結果>

優勝 山川 未浩 (県立向の岡工業高校)  
2位 松本 春輝 (県立向の岡工業高校)  
3位 今村 透生 (県立神奈川工業高校)  
4位 高橋 大介 (県立神奈川工業高校)

### <関東甲信越高校生コンクール神奈川県代表選手>

松本 春輝 (県立向の岡工業高校)  
今村 透生 (県立神奈川工業高校)

優勝者の山川さんは高校3年生のため、卒業となりますので2位の松本さんと、3位の今村さんの2名が関東甲信越高校生溶接コンクールの神奈川県代表選手になります。

山川さんに続いて2年連続神奈川県が全国大会の出場権を獲得出来る様に期待しております。



向の岡工業高校に訪問して表彰と会長賞を授与  
左から松本さん、尾茂田会長、山川さん



神奈川工業高校に訪問して表彰と会長賞を授与  
左から尾茂田会長、今村さん

## 第22回高校生ものづくりコンテスト全国大会 溶接競技部門 (公開競技)

2022年11月12日(土)、13日(日)に岡山県立岡山工業高校において、第22回高校生ものづくりコンテスト全国大会が開催されました。

出場選手は全国9ブロックの代表9名と開催地枠1名の10名で、日頃の練習成果を競いました。

競技は、制限時間30分で厚さ9mmの競技材を被覆アーク溶接し、外観および超音波探傷試験で審査を行いました。

今回、神奈川県大会および関東甲信越大会を勝ち抜いて関東ブロックの代表権を獲得した神奈川県立向の岡工業高校の山川未浩さん(3年生)が出場し準優勝の成績を収める活躍を見せました。

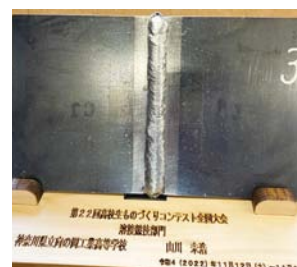
全国大会に向けて神奈川県立向の岡工業高校の山川さん他、松本さん(2年生)中澤さん(1年生)の部員一同、平日は学校で、土曜日には日本溶接技術センター様に溶接場を提供して頂き上位入賞を目指して熱心に練習した成果が実を結びました。

準優勝と聞いた時の山川さんの気持ちは「ほっとしました。電流調整が上手くいかず、裏波が綺麗に出なかったのがダメだと思った。」と語っていました。

なお全国大会の優勝選手は、愛知県立愛知総合工科高等学校の村上晴哉さんです。



競技風景



準優勝の競技材



## 講演会「呼吸保護具のフィットテスト実施要領」開催

2022年11月29日(火)横浜市の波止場会館(横浜市港湾労働会館)5階多目的ホール大において、開催いたしました。

特定化学物質障害予防規則等が改正され、2022年4月から金属アーク溶接等作業を実施する事業者は、溶接ヒュームの濃度測定結果に応じ、換気装置の風量の増加その他必要な措置を講じなければならないこととなりました。

併せて、金属アーク溶接等作業を継続して行う作業場については、溶接作業者に対して、年1回、呼吸用保護具(マスク)のフィットテストを実施することが義務付けられました。(経過措置により2023年4月1日施行)

このような背景から、一般社団法人 神奈川県溶接協会会員様向けに特定化学物質障害予防規則の概要とフィットテストの概要の説明および実際の測定器を用いてフィットテストのデモを行いました。

特定化学物質障害予防規則等については、埼玉大学 工学博士で(一社)日本溶接協会安全衛生・環境委員会委員長の山根敏教授が説明を行い、フィットテストの概要とデモについては、(株)興研 安全衛生ディビジョンの石川 建彦氏が説明を行いました。

当日は、満席となる50名近い方が受講し講演会終了後も個別に講師の方に質問したり、名刺交換したりと皆さん溶接ヒュームの対応に苦慮していることが伺えました。

また、今回は昨今のデジタルトランスフォーメーション(DX)の流れが溶接業界にも波及しつつありますが、具体的にどのようなことが出来るのかをデジタル技術による見える化の一例として埼玉大学山根敏教授による「溶接の可視化と制御(深層学習の適用)」について特別講演会を行いました。

皆さん溶接業界でのDXについて情報を得る機会も少ないので興味深く聴かれておりました。



会場風景



定性的フィットテストデモ

## 講演会「ステンレス鋼溶接の実際」開催

2023年2月8日(水)川崎市の(一財)日本溶接技術センター大講堂において、約30名の参加者を迎え開催いたしました。

ステンレス鋼は、誕生してから100年以上の歴史があります。ステンレス鋼の最大の特徴である“耐食性”つまりは“錆びにくさ”から、その用途は非常に多岐に渡っており、わたしたちの生活と密に関わっています。

一方でステンレス鋼は“錆びない”鋼であると誤解している方が多いのもまた、事実です。実際には“錆びない”鋼ではなく、“錆びにくい”鋼であり、酸性度の強い環境や海水環境など、過酷な環境においては、錆びてしまいます。

このような背景から、ステンレス鋼の種類やそれぞれの特性、ステンレス鋼を溶接する際の材料選定や勘どころといった基礎的な内容から、近年のトレンドであり、適用事例も増えつつある二相ステンレス鋼、とても身近である、鉄道車両の製造には欠かせない抵抗スポット溶接技術、ステンレス鋼溶接後の処理の1つである電解研磨処理など、ステンレス鋼全般に渡っての講演を行いました。

講師の田中雅之氏((株)タセト)より「ステンレス鋼溶接材料と溶接について」と「二相ステンレス鋼の動向と溶接について」、講師の大塚陽介氏((株)総合車両製作所)より「ステンレス鋼の抵抗スポット溶接について」、講師の山村亮平氏((株)タセト)より「ステンレス鋼の電解研磨処理について」と4つのテーマを平易に解説していただきました。

質疑応答では多数の質問が寄せられ各講師が知見を交えて分かり易く回答し、参加者の方々に満足していただける講演会となりました。



会場風景

## 2023年第66回神奈川県溶接コンクール開催

2023年3月24日(金)に日本溶接技術センターにおいて第66回神奈川県溶接コンクールを開催いたしました。

今回は、昨年の35名(被覆アーク溶接11名、炭酸ガスアーク溶接24名)を上回る41名(被覆アーク溶接14名、炭酸ガスアーク溶接27名)の選手が参加しお互いの腕前や技量を競い合いました。

昨年に引き続きコロナ禍での開催となり開会式、閉会式も行いませんでしたが来年は開閉会式も復活する予定をしておりますので、さらに多くの企業および選手に参加していただき活気ある大会にしたいと思います。

なお、外観審査はコンクール当日に行い、後日、X線審査、曲げ試験審査および最終審査を行い総合順位が決定します。

総合順位で被覆アーク溶接上位2名、炭酸ガスアーク溶接上位2名の計4名が、2023年11月11日(土)、12日(日)に茨城県で開催される第68回全国溶接技術競技会の神奈川県代表選手として推薦されます。

※第66回神奈川県溶接コンクールの結果および総合順位は次号で報告します。

### <コンクール概要>

- ・主 催 神奈川県、一般社団法人神奈川県溶接協会
- ・開催期日 2023年3月24日(金)
- ・会 場 (一財)日本溶接技術センター
- ・参加企業 15企業41名



持ち物検査風景



被覆アーク溶接競技風景

被覆アーク溶接の部 9企業 14名	
企業名(あいうえお順)	人数(人)
(株)IHI横浜工場	2
コベルコ溶接テクノ(株)CSグループ	1
コベルコ溶接テクノ(株)開発試験室	1
JFEエンジニアリング(株)溶接工事機械室	2
東芝エネルギーシステムズ(株)京浜事業所	2
(株)総合車両製作所	2
富士電機(株)	1
三菱重工業(株)相模原製作所	2
日本溶接構造専門学校	1

半自動用溶接の部 12企業 27名	
企業名(あいうえお順)	人数(人)
コベルコ溶接テクノ(株)CSグループ	1
コベルコ溶接テクノ(株)開発試験室	2
JFEエンジニアリング(株)鶴見製作所	3
ジャパンマリンユナイテッド(株)横浜事業所	3
住重横須賀工業(株)	1
住友重機械マリンエンジニアリング(株)	3
(株)総合車両製作所	3
東芝エネルギーシステムズ(株)川崎工場	1
東芝エネルギーシステムズ(株)京浜事業所	2
日産自動車(株)	3
富士電機(株)	3
三菱重工業(株)相模原製作所	2

### 講習会について

当協会では、(一社)神奈川県高圧ガス流通保安協会共催で5月にアーク溶接特別教育を下記の通り開催いたします。

詳細は4月上旬にお送りしたパンフレットをご覧ください。是非受講の申込みをお待ちしております。

— 記 —

日 時：2日間コース 5月22日(月)、23日(火)9時15分～17時 ⇒ 個人の方は受講できません。

3日間コース 5月22日(月)、23日(火)、24日(水)9時15分～17時

会 場：5月22日(月)、23日(火)：波止場会館(横浜港湾労働会館)多目的ホール小1階

5月24日(水)：(一財)日本溶接技術センター

定 員：20名

締切日：5月12日(金) 但し、申込書到着順で満席になり次第締切ます。

※2日間コースは、3日目の実技講習が省略されるため、実技時間が法規で定める10時間に不足します。

このため、会社に勤めている方で不足分を事業主が補充できる場合のみ受講できます。

このことは修了証にも記載されます。

### 溶接技能者講師派遣について

当協会では、溶接のベテラン技能者を講師として派遣しております。ご利用いただいた企業様からは、大変ご好評をいただいております。

- ・外国人技能実習生向け溶接試験の実技指導をしてもらいたい。
- ・溶接技能者評価試験に向けた溶接のポイントをつかみたい。
- ・新入社員に教育したいが、社員の負担が大きく時間も取れない。

など、企業様の要望に合わせたカリキュラムで対応いたしますので、お電話かメールでお問合せください。